

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【457】
2. 日時：令和5年4月12日 13時30分～16時15分
3. 場所：原子力規制庁 9D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

津金主任安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、植木技術参与、  
山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

藤原技術研究調査官、堀野技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他16名※

北海道電力株式会社

原子力事業統括部 泊発電所 機械保修課 統括主任※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 担当 他1名※

## 5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（配管貫通部の耐震性についての計算書及び耐震基本方針についての説明書等）について、令和5年4月6日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【配管貫通部の耐震性について】

- 許容荷重領域について、オーバル振動の影響を考慮したものに変更しなくてよい理由を説明すること。
- 疲労累積係数の評価について、運転状態Ⅰ及びⅡにおける疲労累積係数の加算の要否を説明すること。
- サプレッションチェンバの3次元シェルモデルについて、内部構造物の質量のモデル化方法を説明すること。
- オーバル振動を考慮した配管貫通部の評価方法について、詳細に説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

なし